

センターレポート

平成13年度過去最低の設備投資

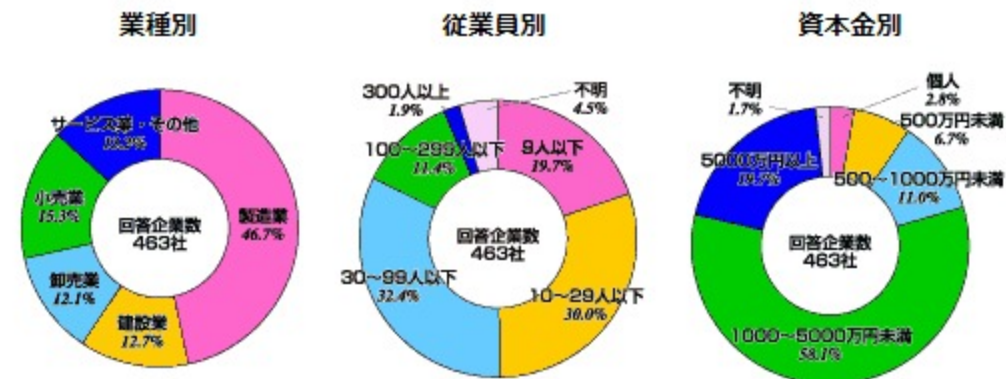
今年度に設備投資を予定している企業は3割を切る

－設備投資動向調査－

2002.3月調査

調査概要

(対象) 県内中小企業1000社
(回答) 回答企業数463社
(調査時期) 平成14年3月
(調査方法) 郵送によるアンケート調査



平成13年度の設備投資実施状況

平成13年度の設備投資実施状況は、実施した企業が54.4%と、前年度に比べ3ポイント減となり、2年連続で減少し、昭和57年の調査開始以来、過去最低の設備投資実績となった。

(図-1)

業種別にみると、製造業55.1%（前年度比11.7ポイント減）、非製造業52.0%（同2.9ポイント増）となり、製造業で大幅な減少となった。製造業の中で実施率の高かった業種は食料品70.4%で、これに対し、木材・木製品・家具31.8%、一般機械37.5%は3割台であった。非製造業の中ではサービス業66.7%は6割を超えたものの、卸売業42.9%、小売業40.8%は4割台にとどまった。（図-2）

資本金別では、5000万円以上の規模の企業では67.0%の実施率となったが、個人及び500万円未満の企業においては2~3割台という低い実施率となった。

(図-3)

設備投資を行わなかった理由としては、「年度当初から投資計画はなかった」とする企業が92.9%と大勢を占めたが「予定はあったが取りやめた」「予定はあったが繰り延べとなった」とする企業もわずかに見られた。

図-1 設備投資実施状況推移

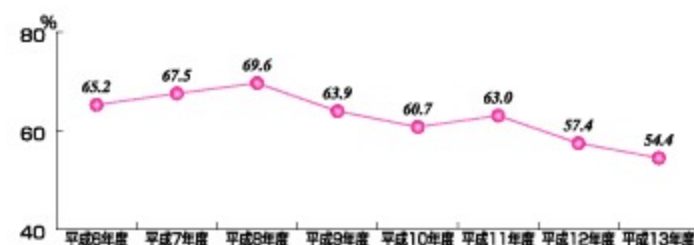


図-2 設備投資実績及び計画（業種別）

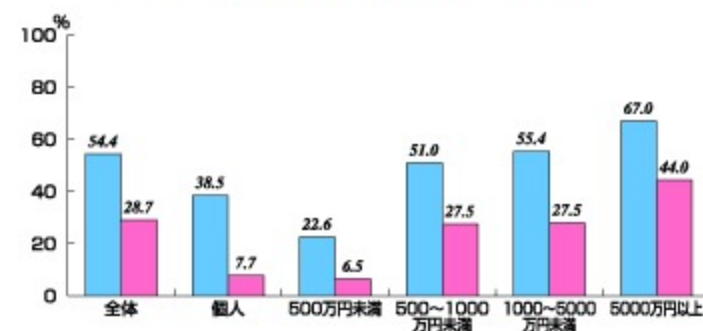


図-3 設備投資実績及び計画（資本金別）

